

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL) 0555-22-3199

(FAX) 0555-25-7002

2025年04月第512号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

「小さなことも大きな愛情をもって行うこと」

佐々木アグネス綾子

愛徳のわざは、四旬節の中でカトリックが大切にしている様々な行いの一つです。

「神の愛の宣教者会」は、貧しい人々に神の愛を伝えることを目標とし、一年中様々な奉仕をしています。1950年10月7日にマザー・テレサによって設立された神の愛の宣教者会は、インドのコルカタのスラム街で始まり、社会の中で拒絶を経験した貧しい人々、病気の人々、見捨てられた人々に奉仕する国際組織です。日本には東京、名古屋、別府に修道院があり、シスターたちは、思いやり、質素さ、無私無欲の奉仕の価値観に導かれ、他に誰も頼る方がいない人々を助けることにその人生を捧げています。

3月の下旬、聖母マリアミッションという団体が作った日本語の奇跡のメダイを届けるため、姉と二人で東京の足立区にある小さな修道院を訪れました。シスターたち自身、貧しい暮らしをしている中でも、食料などの支援物資のため、毎週金曜日になると彼女たちは大きな袋をもって出会う一人ひとりに笑顔で接し、慰めと希望の声をかけています。

最初に目撃したのは、交通量の激しい東京の道端に、段ボールやブルーシートを広げて寒さをしのいで生きている若い方々でした。さらに道を進んでいくと、河川敷の林の中では年老いた方々が「家」を造りひっそりと住んでいました。そのような状況で暮らすと、多くの場合病気になったり事故にあって亡くなったりしてしまうそうです。感謝の気持ちを伝え、時には祈りのカードを握りしめながらシスターと一緒に祈る彼らの姿は、シスターたちが指針としている聖句、『はっきり言うておくわたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』(マタイによる福音書 25:40)のことばの実現であると私は強く感じました。

「真の聖性は、笑顔で神の意志を行うことです」とマザー・テレサは書き残しました。この事は、よく耳にする「神のためにすべてを捧げる」という精神に非常に近いため、多くの人にとって受け入れがたい言葉ですが、神の愛の宣教者会はこれを体現しています。弱者に厳しい社会を変えようと闘い続けたマザー・テレサは、神様の意思を実践し、大きな成果を成し遂げました。彼女が育て影響を与えたシスターたちも同様です。

「一切れのパンではなく、多く的人是に愛に、小さなほほえみに飢えているのです。」と教えたマザー・テレサと神の愛の宣教者会に出会えた深い恵みに感謝して、小さいことも大きな愛情をもって行えるよう、日々尽力していきたいと思います。どうか神の愛の宣教者会のシスター方、そして彼女たちから慰めを受ける方々のために祈りをお願いいたします。



3月教会委員会議事録

2025年3月8日実施

出席者:千葉神父・新井・江守・大野・小林・曾根・福永・和田(あいうえお順)
佐々木成子(オブザーバー)

1、「信徒の集い」改編について

- *「信徒の集い」をコミュニケーションの場として1年半続けてきたが、毎回の参加者は教会委員を除いて3～4人であり、しかもほぼ固定してしまっていて本来の目的が達せられているとは言えない状況である。これを受けて次のことを提案する:「信徒の集い」の毎月開催をやめ、10月の予算説明と2月の決算発表の2回を定例会として、また教会共同体全体にかかわる案件に関し信徒の意見を聴く必要があると判断される時には臨時会を、それぞれ開催する。また議案によっては関係する方にオブザーバーとして教会委員会に出席し発言していただく。
- *無記名のアンケートを用意し、なんでも意見のある方はそちらに記入していただく。
- *現在の教会委員会は奉仕グループのリーダーたちによって構成されている。これらの奉仕活動に多くの信徒の方々に参加して意見を言っていたら、それらを教会委員会でリーダーたちが持ち寄るようにする。
- *お茶会は引き続き開催し、信徒の交流の場とする。
- *3月9日の「信徒の集い」にて説明するのでご参集いただく⇒以上の提案を「信徒の集い」にて図ったが、特に意見はなかったのでこの通りにする。

2、行事企画チーム

- 復活祭パーティ
 - *晴天時園庭、雨天時リズムホールで行う。パーティの前に集合写真を撮る。始まりと終わりをしっかりアナウンスする。**雨天時はミサもパーティもリズムホールで行うことになりました。**
 - *外で行う場合テーブルを6か所用意しテントを張る。(3つ購入検討)設営をダルクにお願いする。
 - *卵が高騰しているので持って来られる方をお願いする。
 - *昨年の感謝と喜びのつどいで使用したカプセルを使い、エッグハンティング(?)をする。
 - *からあげはホットモットか別の唐揚げ屋さんで発注する。他の食事はいつも提供してくださる方に声をかける。
 - *片付けは指示があるまで片づけない。(残った人で片づける)
- 堅信式
 - *リズムホールで行う。ミサ後椅子を片付け会場をつくる。準備した食事は幼稚園の教室に置く。
 - *司教様専用のテーブルは準備せず、みんなと交わってもらう。
 - *聖歌隊に何か歌ってもらう。
- 聖母被昇天祭および初聖体の祝い
 - *翌週が堅信式なのでプチパーティとし、集会室にて茶話会形式でかき氷やケーキといったものでお祝いする。
- 10月ソフィアさんの料理教室
 - *ウクライナ支援の意味ではいいと思うが、行事が多く、もう少し検討する。他の教会の行事と重なることが多く、参加者の取り合いになる。山梨地区共同宣教司牧委員会でも検討し、お互いが参加しあえるよう調整をする必要がある。
 - *実施する場合は日曜学校も参加する。*ウクライナだけでなく、ミャンマー料理など他の国の料理教室はどうか。
- 感謝と喜びの集い
 - *秋に行事が集中し負担が多い。従来通りでよいかどうか今後検討していく。

3、5月24日(土)富士山2合目聖母巡礼の規模と企画内容について

- *下見を実施。倒木などあり、危険はないが清掃が必要。また広さとしてミサは厳しい。
- *案として10時にマリア像に集合し、1時間掃除をし、その後祈り、昼食という奉仕と祈りの巡礼としたらどうか。
- *管理がサレジアンシスターズなので倒木などの処理をどうするか確認する。

4、山梨地区司祭巡回ミサの今後について

- *地区間の交流を目的に巡回ミサを年4回実施しているが、司祭の負担が少なくない。山梨地区には司祭が3人いるので1年に1回、3年で一周としたらどうか。⇒次回の共同宣教司牧委員会において富士吉田教会の意見として提示する。

5、典礼委員会

- 奉仕アンケートの配布について

共同体の一員として、それぞれができる奉仕を把握する目的でアンケートを作成。できる奉仕に○をつけていただき、それを参考に朗読や先唱などお願いしていきたい。締め切りを3月末までとするがそれ以降も随時受付ける。次週配布。

- 堅信式におけるミサ式次第パンフレットを作成する。
- 使用済ろうそくの再利用について
復活のろうそくと祭壇ろうそくが毎年8本入れかえるため、古いうそくを再利用できないか。ボタニカルキャンドルかアロマキャンドルなどに作り変えたらどうか。一昨年感謝と喜びの集いでカットし、ご絵を入れて販売したが売れなかった。何かいい方法がないか検討
- 黙想会中のゆるしの秘跡について
*今まで、黙想会の指導司祭が一人で行っていたが、千葉神父にもお願いし2人体制で行っていただく。
*告解部屋の椅子を片付け、香部屋と告解部屋の2か所で行う。
*子どもたちは講話中に千葉神父にしてもらう。場所は幼稚園。
- 明日9日から十字架の道行を行う。地区 LINE でお知らせする。
- 次回3月30日に典礼委員会を開催。

6、営繕委員会

*2年後司祭・信徒館15年点検を踏まえ、パワーコンディショナーのメンテや壁の目地の防水加工など足場を組んで行う点検が必要になる。過去の修繕実績から今後どのくらいの費用が必要か確認する。
*過去、建設積立金が終了するまでは月定献金の一部を修繕積立にまわしていたが、教区本部からそれは望ましくないとの指摘を受け月定献金と別に袋を準備し献金してもらい、現在修繕積立金として相応の積立金がある。修繕の長期計画を営繕と財務で検討していく。

7、広報委員会

*おとずれのバックナンバーファイル整理が完了し、USB へのバックアップ進行中。USB には239号から保存されており、足りない部分を呼びかけ集める。クラウド化も検討。
*復活祭後、佐々木綾子さんがリーダーとなる。

8、婦人部

*3月23日の黙想会において赦しの秘跡が終わったら、随時集会室にて皆さんに食事をしてもらう。カレーを準備

9、その他

*3月26日(水)富士山2合目巡礼団がお天気によって立ち寄り予定。佐々木さん対応。
*コピー室通路側の整理棚を整理し、集会室をもっと広くして使い勝手をよくする。
*財務より、現在3種類の通帳があるが整理し2種類にする。
*4月1日 シンガポールより巡礼団予定 14 時

教会日誌(2025年2月16日～2025年3月15日)

【2月】

16日(日)山梨地区共同宣教司牧委員会(甲府教会にて)
22日(土)◎広報委員会 おとずれ3月号印刷
26日(水)◎営繕委員会 祭壇左手物置の照明スイッチ修理

【3月】

1日(土)◎行事企画チーム 復活祭、プチパーティ、堅信式・司教様をお迎えしてのパーティ打合せ。横浜
教区典礼奉仕者養成コース(第8回)曾根、小林参加
2日(日)◎典礼委員会 堅信式、聖週間の打合せ
5日(水)灰の水曜日ミサ 10 時～ ◎営繕委員会 オルガン前のドア上部に遮光カーテンを仮設置。
8日(土)◎教会委員会
9日(日)十字架の道行き、信徒の集い(ミサ後聖堂にて、今後の信徒の集いのあり方について検討)
13日(木)◎行事企画チーム 復活祭のパーティについて詳細を打合せ
15日(土)甲府教会にて四旬節黙想会 講話:セルヴィ・エヴァンジェリー宣教会 西村桃子宣教師

こ よ み

4月

日付	教会暦	行事内容等	日曜学校	掃除リーダー
4/6(日)	四旬節第5主日	日曜学校始業式	○	大野
4/12(土)		教会委員会		
4/13(日)	受難の主日	聖歌隊練習	—	新井・福永
4/17(木)	聖木曜日 (主の晩餐)	ミサ18:30	—	—
4/18(金)	聖金曜日 (主の受難)	典礼15:00	—	—
4/19(土)	聖土曜日 (復活徹夜祭)	ミサ18:30	—	—
4/20(日)	復活の主日 (イースター)	ミサ 9:30 ミサ後パーティ	×	小林
4/27(日)	復活節第2主日	宣教司牧委員会		江守

御ミサは毎週日曜 9:30 開始です。変更ある場合のみ表に記載します。

イタリア語教室(月曜10時): 4月7、14、21日

◎ご復活祭のゆで卵ご提供のお願い

- ・これまでは各家庭 10 個が目安でしたが、物価高騰の折、できる範囲でご協力頂ければ幸いです。
- ・1 つずつ個別のラッピングをお願いいたします。マジックなど殻を通す絵付けは避けて下さい。
- ・4 月 19 日(土)にお持ちいただく場合は、聖堂後方のかごの中に入れて下さい。
- ・復活祭当日 20 日(日)の場合は、ミサの前に信徒館までお持ち下さい。

5月予定

- ・10 日(土) 教会委員会
- ・18 日(日) (予定確認中)聖母祭@山中修道院
- ・24 日(土) 富士の聖母巡礼(山梨地区伝える部門主催イベント)
- ・25 日(日) 世界広報の日(献金)

4月のミサ奉仕

日	先唱	第1朗読	第2朗読	香部屋
6	曾根 美香	ヴ ティ ホア	遠藤 伸子	江守香代子
13	大野 隆	菅原るみ子	江守香代子	曾根 美香
20	小林恵美子	遠藤 伸子	東海林義夫	中村すみ子
27	遠藤 伸子	大野 隆	吉村 希望	角 幸子

ご復活に向かって ～「十字架の礼拝」の聖歌について～

菊池 香織

私たちはまもなく、典礼暦年の頂点である「過ぎ越しの聖なる 3 日間」を迎えます。キリストの受難と復活を記念するこの重要な典礼において、歌われる聖歌の言葉は大変重く意味の深いものです。とりわけ、聖金曜日の「十字架の礼拝」の際の聖歌(典礼聖歌 331・332・333・334・335・336)は、2000 年前の主の受難という出来事に対し、私たちが自分自身の問題として向き合うための大切な歌です。一年に一回、この日にしか歌わない上に、聖金曜日には参加されない方も多いので、「十字架の礼拝」の起源や、歌われる聖歌の由来を知っていただき、これを歌うことの意義をご理解いただければと思います。

「十字架の礼拝」はすでに 4 世紀半ばのエルサレムで、聖金曜日の午前中に行われていました。その様子は 381 年から 384 年にかけてエルサレムに滞在した巡礼者エゲリアが書き残した巡礼記によって知ることができます。エゲリアはヒスパニア(イベリア半島)からはるばる巡礼に訪れた修道女でした。

コンスタンティヌス帝のキリスト教公認(313 年)の後、ローマ帝国は急速にキリスト教化政策を進め、エルサレムの聖地化と巡礼街道の整備を急ぎました。コンスタンティヌス帝の母である聖ヘレナがニカイア公会議の翌年(326 年)にエルサレムを訪れ、ゴルゴタの場所を特定し、その際イエスが磔にされた聖なる十字架と聖なる釘を発見したことがその背景にあります。その結果、4 世紀後半から 5 世紀前半にかけて聖地巡礼が大流行しますが、その最大の目的は聖なる十字架を礼拝することでした。神の救いの業が成し遂げられるまでイエスの身体を支え続けた聖十字架に対して、巡礼者たちは心からの賛美と感謝を捧げたのです。

エゲリアの巡礼記によれば、聖十字架の木片(一部はコンスタンティノープルに移された)は聖金曜日の「受難の祭儀」の前に公開されました。「礼拝」は、司教が座ってテーブルに置かれた聖なる木片の両端を持ち、助祭たちがその周囲に立って見守る中、信者たちが一人ずつ歩み出て、頭を下げて口づけをして下がる、というかたちで行われました。助祭たちは木片をかじって持ち去ろうとする人を監視する役割だったようです。この十字架の礼拝が現在の典礼につながっています。聖遺物の十字架ではありませんが、司祭が十字架を顕示して「見よ、キリストの十字架、世の救い」と呼びかけ、会衆が「ともに崇め称えよう」と応える、これが 3 回繰り返され、私たちは十字架以外に誇るものがあってはならないことを胸に刻みます(典礼聖歌 331)。

この後に続けて歌われる十字架賛歌クルーチエム・トゥアム *Crucem tuam* は、9 世紀の写本に残る東方教会由来の朗唱風の歌ですが、典礼聖歌 332 では十字架の死が復活の希望へとつながることを予感させるように明るい曲調で「見よ、この十字架のゆえに全世界に喜びが来た」と歌います。ところが私たちは安易にその希望を持つことはできません。このあと、とがめの交唱(インプロペリウム)が執拗に私たちを責め苛むのです(典礼聖歌 333/334/335)。

インプロペリウム *improperium* とは「非難」を意味し、まず、「主の告発」と題されているミカ書 6 章の 3 節の言葉「我が民よ、わたしはお前に何をしたというのか」が歌われ、続いて、神の大いなる恵みを忘れてキリストを受難に至らしめた私たちを徹底的に非難する言葉が歌われます。そして、この神のとがめに対して、ハギオス・ホ・テオス(典礼聖歌 334)を歌って神の慈しみを嘆願します。これは典礼聖歌集の中で唯一のギリシャ語による賛美の歌ですが、「聖なる」という意味のハギオスを 3 回繰り返すのは、イザヤ 6 章 3 節のセラフィムの呼び交わす神賛美に

倣ったやり方で、初代教会の頃から神への賛美と感謝はこの言葉によって為されていました(ミサの中の感謝の賛歌の起源もここにあります)。

こうして神からのとがめの言葉を歌うことで自らの罪を深く自覚し、そのあとにハギオスを歌って神に嘆願する、という非難と応唱は、会衆が列を作って十字架を礼拝している間ずっと続けて歌われます。最初の 3 節は 8 世紀の写本に見られ、そのあとの 9 節は列が長い時のために 11 世紀に付加されました。その結果、私たちは最大 12 回も神への背きを責められるのです。

この後に歌われる十字架賛歌クルクス・フィデリス(典礼聖歌 336)は、メロヴィング朝時代の宮廷詩人で後にポワティエ司教となったフォルトゥナトゥス Fortunatus (530－609)によるラテン語の詩 *Crux fidelis* の概要を日本語にした歌です(メロディは全く異なります)。フォルトゥナトゥスは、クロタール 1 世の妻でフランス初の女子修道院を創設した聖ラドゴンド(519－587)と霊的に深く結ばれていて、ラドゴンドが東ローマ皇帝ユスティヌス 2 世から聖十字架の断片を自分の修道院のために譲り受けた際に、ラドゴンドの依頼で十字架の勝利を讃えるこの詩を書きました(570 年)。

ラテン語原文は音節数が完全に揃った 3 行詩 10 節から成り、フォルトゥナトゥスの教養の高さがうかがい知れる格調高い詩です。典礼聖歌 336 では原文の内容に基づいて、十字架の木は、そこにおいて血と水が流れ出て、あまねく世界を洗い清めた「尊いからだを担った木」であり、世の救いをもたらした「すべてにまさる尊い木」であることを歌います。

私たちは主の復活の喜びに与る前にこれだけの歌を歌って主の受難(＝十字架上での死)に向き合い、このとてつもない犠牲の痛みを憶えることが求められています。そして、主が死から生へと移られる最も聖なる夜、人々はかつて一晩中祈りと涙で徹夜を守りました。

福音書にあるように(ルカ 12,37-38)、灯りを灯し、目を覚まして主人の帰りを待っていた僕は、主人と共に食卓に着くように招かれるからです。主人の帰り、すなわち「主の復活」という十字架の凱旋を目覚めて待つために徹夜を守る、キリスト教初期の教会はそうした意味で復活徹夜祭を行い、私たちはそれを受け継いでいるのです。今月9日から四旬節に入ります。一人ひとりが自己を見つめなおす大切な時です。どんなことでも全てを受け入れて下さる神様の愛に信頼し、罪を許してくださる大きな恵みをいただきましょう。

Microsoft Bing

Crux fidelis

Q すべて COPILOT 動画 検索 画像 地図 ニュース さらに表示



Crux fidelis - John IV, King of Portugal, John Rutter, The Cambridge...

視聴回数: 1.5万回 · 2020年2月3日
YouTube › John Rutter & The Cambridge Singers



"Crux Fidelis" - by the Norbertines of St. Michael's Abbey

視聴回数: 3.6万回 · 2023年3月23日
YouTube › St. Michael's Abbey

ラテン語の *Crux fidelis* は youtube で聴くことができました (大野)